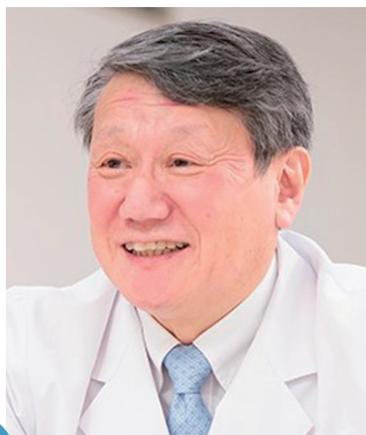


第18回 最新医療経営 PHASE3主催 オンラインセミナー

慢性期医療の質を高めて 療養病床も「治療」する時代

11月1日(水)
18:30~20:00



プロフィール●北海道医学部卒業後、同大学医学部第二外科に入局。1993年、医療博士号取得。98年、NTT東日本札幌病院外科医長・救急部医長(兼任)、2003年、南小樽病院に入職し09年、病院の法人化に伴い、医療法人社団青優会南小樽病院病院長に就任。13年より現職。日本慢性期医療協会副会長、東京大学医学部医学系研究科非常勤講師。

形式

オンライン (Zoom)
※ミーティング形式

参加料

3,000円(税込)

ゲスト
スピーカー

矢野 諭氏

医療法人社団大和会多摩川病院
理事長

特集を読んだうえで
セミナーに参加いただく
ことをお勧めします

病院の経営情報を提供する月刊誌「最新医療経営 PHASE3」では毎号、時節に合った特集を企画しています。今回は、2023年9月号巻頭特集「2024年度同時改定の最大焦点! 『慢性期医療』評価を展望する」との連動セミナーとなります。」療養病床に期待される役割として「治し、帰す」が一層求められ、診療報酬においても患者状態の改善に向けた取り組みを積極的に評価する動きが見られます。

今回の演者には、医療法人社団大和会多摩川病院の矢野諭理事長をお迎えしました。日本慢性期医療協会は「慢性期病院のClinical Indicator (臨床評価指標)」を選定し、慢性期医療特有の実態を可視化する取り組みを進めていますが、矢野理事長はその旗振り役も務めています。あるべき慢性期医療評価についてさまざまな角度からお話いただきます。



タイムスケジュール

- 18:30~18:35 9月号特集解説
- 18:35~19:40 矢野 諭氏 講演
- 19:40~20:00 質疑応答 & 意見交換

お問い合わせ

株式会社日本医療企画セミナー事務局

03-3553-2885

ご購入は
こちら ▶



お申し込みは
こちら ▶

